

「川下地域協育ネット」構築の取組

～地域全体で子どもを育む～

【岩国市 川下中学校区】

地域の概要

川下中学校区は岩国市のほぼ中心部に位置し、川下小学校・愛宕小学校の学校風土を異にする2つの小学校区からなります。川下中学校は、生徒数は500人を超え、岩国市内では生徒数が最も多い中学校です。岩国米軍基地を校区内に有し、地域や学校の雰囲気も国際色豊かです。商業・住宅地域や造成された団地及び干拓地に広がる蓮田の農業地域からなっています。

人口	20,101人	
世帯数	9,721世帯	
対象校及び 児童生徒数	川下中学校	521人
	川下小学校	416人
	愛宕小学校	622人

組織の内容

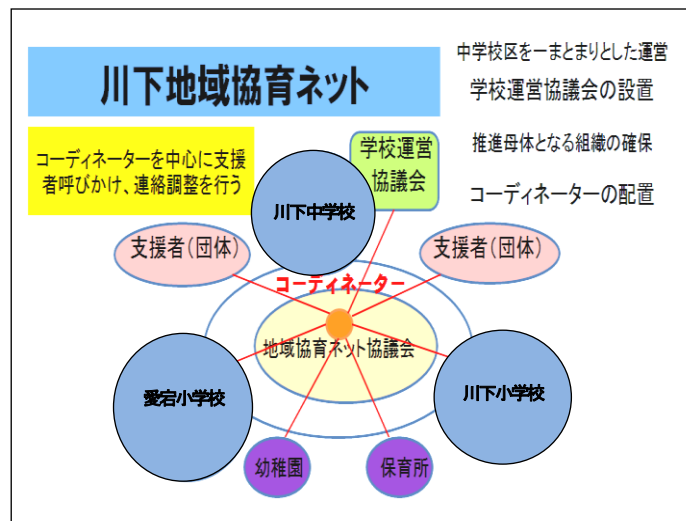
川下中学校は今年度から学校運営協議会を立ち上げ、コミュニティ・スクールをスタートしました。学校運営協議会委員には地域の社会福祉協議会会長、主任児童委員、保護司、地元企業関係者、地域の学識経験者、育友会関係者の方をお願いしています。

この学校運営協議会を推進母体として、これに愛宕小学校長、愛宕小学校地域担当教員、川下小学校長を加え、さらに、市教委からもオブザーバーとして参加していただき「川下地域協育ネット」も立ち上げました。

子どもたちの15年間の育ちや学びを地域ぐるみで支えることをねらいとし、組織は右図のように考えています。学校・地域・家庭が協力して地域の子どもたちを育てていく具体的な取組にはどのようなものがあるかを話し合い、まずできることから始めようと第一歩を踏み出したところです。

コーディネーターとの打ち合わせ、事前会議、本会議を繰り返し、学校運営協議会を中心にしたより充実したネットワークづくりを進めるとともに新たな連携を推進していきたいと考えています。

学校教育関係者	小学校	3人
	中学校	5人
育友会関係者		2人
地域企業関係者		2人
社会福祉関係者		4人
学識経験者		1人



特色・重点的な取組

学校運営協議会と川下地域協育ネット協議会の委員のメンバーをほぼ同じにし、2つの会議を同時にもち、休憩を挟んで前半に学校運営協議会、後半に川下地域協育ネット協議会を開催しています。コーディネーター、小・中学校関係者による事前会議において熟議した上で、それをもとに毎回本会議を開催しています。事前会議、本会議ともに市教委からもオブザーバーとして参加していただき、一緒に協議しながら会の充実を図っています。

主な活動の紹介

- 第1回学校運営協議会（6.25）
学校経営方針の説明、活動内容の検討、学校への意見・要望
- 川下地域協育ネット協議会事前会議（7.30・10.3・10.31・1.16・1.23）
川下地域協育ネット協議会及び学校運営協議会のもち方についての意見交換
- 川下中学校校内研修会（8.21）
地域コーディネーターを校内研修会にお招きし、教職員へ紹介
コミュニティ・スクール、地域協育ネットの導入、推進についての研修を実施
- 第1回川下地域協育ネット協議会及び第2回学校運営協議会（8.29）
前半＜第2回学校運営協議会＞
 - ・コミュニティ・スクール、川下地域協育ネットの導入、推進についての説明
 - ・学校運営についての説明、質疑応答、学校への要望後半＜第1回川下地域協育ネット協議会＞
 - ・小学校、中学校、地域、育友会が連携した活動についての検討
- 第2回川下地域協育ネット協議会及び第3回学校運営協議会（11.5）
前半＜第3回学校運営協議会＞
 - ・授業参観アンケート、学校評価アンケート後半＜第2回川下地域協育ネット協議会＞
 - ・小学校、中学校、地域、育友会が連携した活動についての検討
 - ・校区内ボランティア清掃活動について
 - ・校区内安全マップづくりについて
 - ・学力向上に向けた地域の協力について
- 第3回川下地域協育ネット協議会及び第4回学校運営協議会（2.8）
- 次年度計画中の主な取組
 - ①小中・地域・育友会が連携して校区内ボランティア清掃活動を行う。
 - ②小・中各校でそれぞれ作成している安全マップをもう一度地域の方々とともに見直し、1枚の川下中学校区共通の地域安全マップを作成する。



川下地域協育ネット協議会



成果と課題

今年度、学校運営協議会及び地域協育ネット協議会が設置されたことにより、学校と地域の連携を本格的に考える雰囲気が広がりました。まず、校区内のボランティア清掃、安全マップづくりに小学校、中学校、地域、育友会が連携、協力して取り組むという活動を考え、準備を進めています。

しかし、中学校と小学校の主導により進んでおり、地域への広がりには課題が残されています。今後、地域協育ネット協議会で、しっかり熟議を重ね、学校と地域の連携をより一層密にした活動に取り組んでいきたいと考えています。

今後の取組

行事的な取組だけでなく、川下中学校区の課題である学力向上を図るために小・中学校が連携するとともに、地域の方の参加による活動を推進していく必要性を感じています。具体的には、今年度小中連携として行ったお互いの教員が出向いての夏期休業中の補充的学習を、地域協育ネットを活用した形に発展させた**川下塾（仮称）**を発足させることなどが考えられます。本格的実施に向け計画的に取り組んでいく予定です。